

| 項目 | | 説明 |
|---|-------------------------------------|--|
| 試料・情報の利 用目的 及び 利用方法 | 研究課題名 | 機械学習による病理組織画像解析 |
| | 研究目的 | 人工知能を用いた機械学習による解析を、日常的に病理医が診断に用いる病理組織標本に利用して、遺伝子変異との関連など、これまでにない新たな病理診断学分野の確立を目指した研究です。病理診断に用いた組織標本を、バーチャルスライドと呼ばれる機械で精細な画像として取り込み、この画像が含む情報と、既に解っている病理診断結果、遺伝子変異検査結果、その他の臨床情報との関連を解析していきます。 |
| | 研究対象者 | 当センターで生検、手術を受け病理組織診断が実施された方 |
| | 研究期間 | 西 暦 2021 年 7 月 5 日 ~ 西 暦 2024 年 3 月 31 日 |
| 利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します) | | <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (病理診断結果、遺伝 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 子変異結果) |
| 試料・情報の 管理について の責任者 | 当センター 研究責任者 | 宮城洋平 |
| 試料・ 情報を 利用す る者の 範囲 | 当センターでの実施診 療科/部局等 | 臨床研究所、病理診断科、がんゲノム診療センター |
| | 共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者 | 東京大学医学部・衛生学 石川俊平 |